

平成23年度
実施事業

事務事業名 登別商工会議所事業推進補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	2	安定した企業活動を支える良好な経営環境の創出
主要な施策	1	経営支援機能の充実
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 22 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	登別商工会議所が市の事業と連携して行う事業を支援することにより、市が行う経済施策の効果をより大きなものとし、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別商工会議所が市と連携して行う事業に対して、その人件費の一部を補助した。 【事業実績】 <補助対象事業> ・登別ブランド推進事業 ・買い物支援トライアル事業 ・市内商業活性化事業及び福祉サービス事業の検証 ・プレミアム建設券発行事業 ・各種経済調査事業 ・起業化支援事業創業入門塾
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	当補助金は、市職員の引き上げに対する緩和措置として平成22年度から平成24年度までの3年間交付するものであることから、平成24年度をもって補助金の交付を終了する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別商工会議所事業推進補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

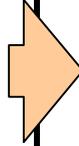
区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	2,400	2,400	2,400	0	0
事業費 合計			2,400	2,400	2,400	0	0

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	市内経済活性化に向けた事業	件	目標値	5	6	6	6	6
			実績値	6	6			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
平成21年度をもって市からの職員派遣を取りやめたことによって生じるマンパワーの不足を補うための緩和措置としての補助という側面もあり、3年間に限り補助してきた。	平成24年度においても当補助金を継続し、登別商工会議所の財政基盤強化を支援するとともに、登別商工会議所が市の施策と連携して行う市内経済の活性化を推進する事業の実施について努めてもらう。	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 当補助金の交付により、登別商工会議所の経営資源を市内経済活性化に向けた各種事業に集中させることができ、事業の円滑な実施につながっていることから妥当と判断する。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 平成21年度をもって市職員の派遣を中止したことにより生じるマンパワーの不足に対する激変緩和措置としての側面を有しており、この措置を講じなければ市内経済活性化に向けた事業の円滑実施が損なわれる恐れがあるため。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 市と連携して実施する市内経済活性化に向けた事業に従事する職員の人件費に対して補助していることから多額の経費を要しているが、現状ではやむを得ないものとする。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 当補助金の交付により、市と連携して実施する各種事業を円滑に進めることができ、市内ニーズの把握と市内経済活性化に向けた事業を実施することができた。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

終了	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	当補助金は、市職員の引き上げに対する緩和措置として平成22年度から平成24年度までの3年間交付するものであることから、平成24年度をもって補助金の交付を終了する。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

終了	備考	
----	----	--